

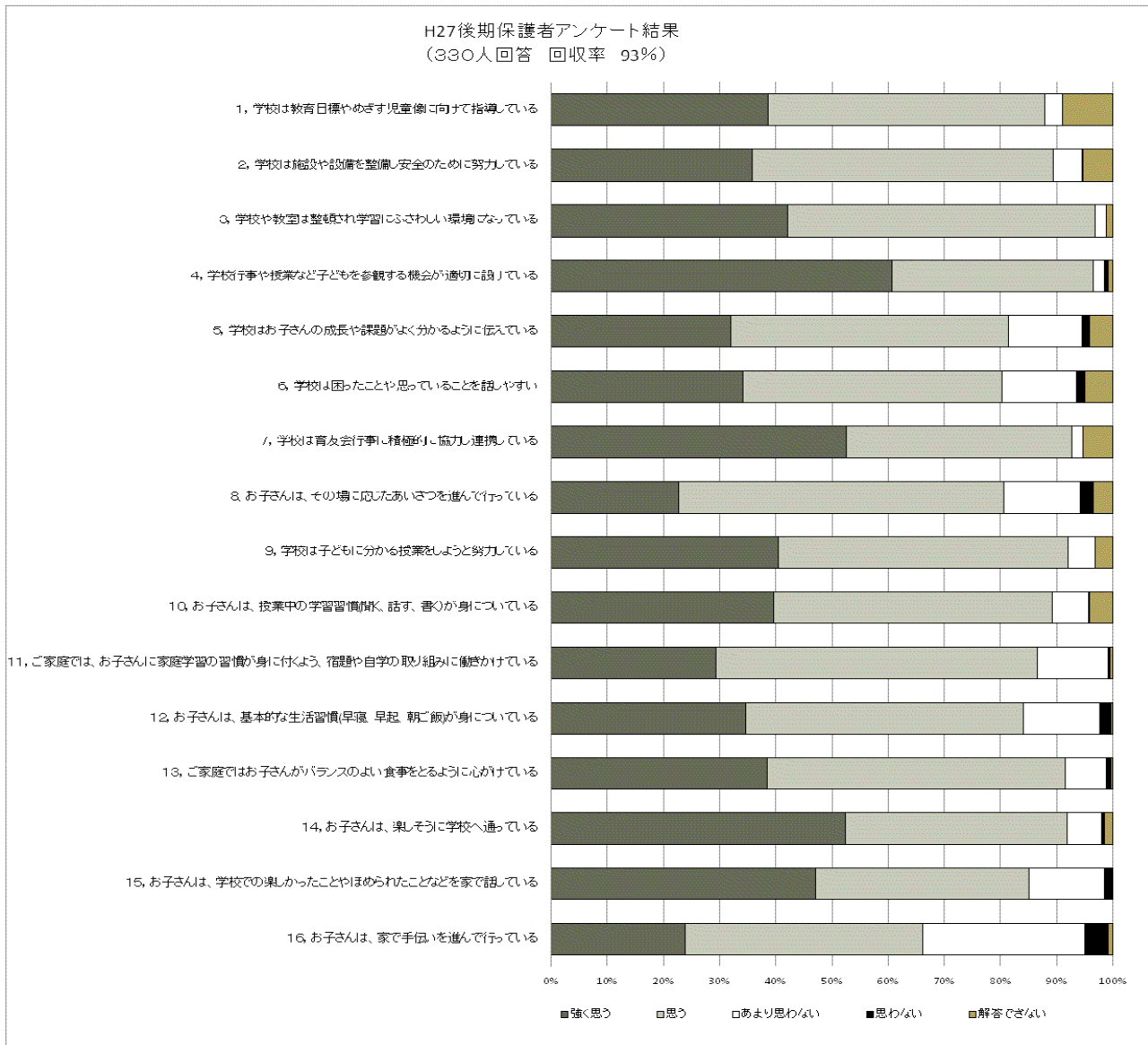
保護者様

金沢市立西小学校
校長 川原 弘明

『平成27年度後期 保護者アンケート』の集計結果から

新春の候、保護者の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、保護者の皆様にご回答いただきました「保護者アンケート」（回収率96%）について集計が完了いたしましたのでご報告いたします。

『平成27年度西小学校後期保護者アンケート』の集計結果（概要版）



結果分析

○分析・検討の方針は次のとおりです

「強く思う」+「思う」が80%以上の項目は「おおむね満足」項目

「強く思う」+「思う」が80%未満の項目は「検討・改善」項目

その結果


- ・ 16項目中15項目で「おおむね満足」、1項目で「検討・改善」でした。

「検討・改善」項目

⑩家の手伝い(66.2%)


・ 上記の項目⑩は前期に引き続きの検討・改善項目となりました。これについてのこれまでの取り組みを次頁で解説します。

前期の改善項目について

8. お子さんは、その場に応じたあいさつを進んで行っている
+ 2. 9% (80. 6%) 

徐々に上昇しています。

1月の生活目標でさらに取り組んでいきます。挨拶で心がつながり合う心地よさを学校、家庭、地域でもさらに感じていってほしいものです。

16. お子さんは、家で手伝いを進んで行っている
- 1. 8% (66. 2%) 

さらに下降傾向にあります。

この冬休み、どの学年もお手伝いの宿題があったと思いますがいかがでしたでしょうか。5アップカードでは、その期間しかやらないという声を多く聞きます。また勉強やゲームなど自分の時間優先で、忙しいからやらないという声も聞かれます。家族の一員としての役割を自覚させるには自己有用感を高めることが大切です。役立っていることを「ありがとう」「助かるよ」と言葉かけでしっかり本人に伝えてください。

学校では冬休みのお手伝いの習慣を継続させるため「続けられる自分の仕事」を見つけさらに実践することを促し、状況を適宜聞いて励ましていきたいと思ひます。

1. 学校は教育目標やめざす児童像に向けて努力している

この項目については、後期 89.1% となりましたが、昨年後期から 5% 減となっています。特に「解答できない」つまりよく分からないという回答が増えています。教育目標やめざす児童像は抽象的な文言でなかなか浸透しない現実があります。私たち教職員だけでなく、子どもたち、そして保護者の皆様とも共有できるように努めます。今、子どもたちは金沢市の全児童生徒が目指す児童像「金沢子どもかがやき宣言」の暗唱に取り組んでいます。8つの子ども像ですが、繰り返し唱えるだけでも、心にしみ込んでいってくれると期待し、また日常でもお互いに合言葉のように確かめ、これを目標として頑張ります。

6. 学校は困っていることや思っていることを話しやすい

この項目は、昨年後期 86.0%、今年前期 83.1%、そして後期は 80.3% と継続して下降傾向にあります。学校と家庭の連携が大切であるにもかかわらず、保護者の皆さまが学校に対して相談しにくいと感じられていることは学校として直ちに改善を図らなければなりません。教職員一同、保護者の思いや願いをしっかりと受け止められるよう、話しやすい雰囲気をつくっていきます。また、保護者の皆さまも遠慮なさらずご連絡をお願いいたします。

<自由記述から>

① 学習環境について

- ・トイレの掃除の頻度が上がるとよい。子どもたちの簡単な掃除でも効果があるのではないか。

ご指摘、ありがとうございます。学校では月3回の業者による消毒清掃を行っています。しかし、その間かなり汚れが目立ち、匂っているのが現状です。子どもによる清掃は衛生面から実施は難しいので、職員による清掃の回数を増やします。また和式トイレでの使用の乱れが目立ちます。子どもたちには使用上の注意を促していきます。

② 健康指導について

- ・給食後のはみがき時間をよいのではないか

大変よいご提案ですが、現在、時間的な面、場所の面から全校一斉に「指導の時間」として取り組むことは難しいと思われまひます。やりたい児童がはみがきをする点については問題ありません。

③ アンケートの取り方について

- ・子どもの目に触れるアンケートでは記述しにくいこともあると思ひます。アンケート方法を検討してもらいたい。

配慮が足りず、申し訳ありません。今後は、必要な方は、子どもの目に触れないように封筒でご提出をお願いすることとします。